

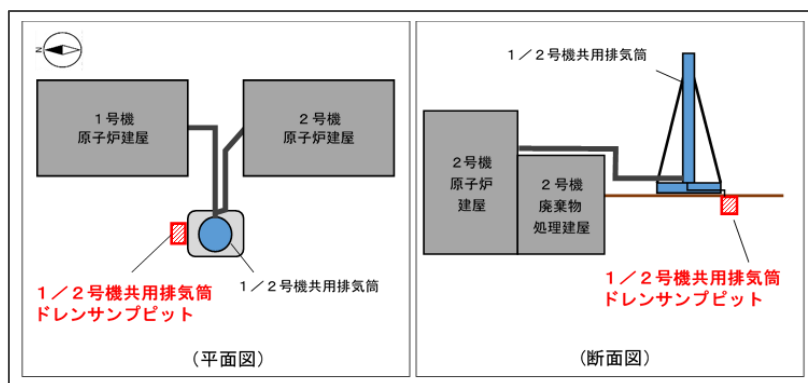
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年2月14日（金）
- 2 確認箇所
1 / 2号機共用排気筒付近
- 3 確認項目
1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプピットの水位低下事象への対応状況
- 4 確認結果の概要

昨年11月26日に1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプピット※¹の水位が低下する事象が確認され、ピット内の水が外部へ流出したことが疑われたことから、11月27日に東京電力は応急的な対策として、水位低下が緩やかとなる325mm以下でピット内の水位を管理するため、移送ポンプの水位管理値を変更した。その後、さらなる対策として移送ポンプの吸込下限値を低くするための吸込管の交換作業に向けた準備が行われ、本日（2月14日）、吸込管の交換作業が実施されたことから、状況を確認した。

- ・当該ピット周辺の空間放射線量率は非常に高いことから、クレーンを用いてピット上に被せていた雨養生カバーを吊り上げた後に、作業員が被ばくを少なくするためにピットと距離を取るよう専用治具を用い、吸込管の交換作業を計画どおり実施し、問題なく作業は終了した。（写真2）
- ・東京電力によると、吸込管の交換により移送ポンプの吸込下限値が現状の320mmから260mm程度までに下がり、応急的な対策を完了したことから、今後、恒久的な対策である当該ピットへの雨水流入防止対策を検討するとのことである。

※1 排気筒ドレンサンプピット：排気筒内に入り込んだ雨水や排気筒内で発生した結露水を貯めるための集水桝であり、大きさは約1m×約1m×深さ1mとなっている。（図1、写真1）



(図1) 1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプピット概略図



(写真1-1)
排気筒周囲の状況



(写真1-2)
ドレンサンプピットの状況



(写真2-1)
作業中の状況
(遠隔カメラから確認)



(写真2-2)
取り外された吸込管
(ビニール袋で養生されている)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。